

# 合格体験記

氏名：N.S.

## [合格した自治体(校種・教科)]

大阪府（中学校・美術）

## Q 採用試験に向けて...

①いつから勉強しましたか

卒業した4月から

②どのような教材を使っていましたか

自治体別美術科過去問（大阪府・愛知県・東京都）  
頻出傾向美術科問題集  
学習指導要領美術科解説  
教員採用試験の雑誌の美術科の問題のところ

③勉強方法

赤シートを利用して完璧に覚えていく

④一日何時間勉強しましたか

24時間飲み食いせずにとつとする日もあれば全くしない日もあるので集中できるときにいっぺんにする

⑤どこの自治体を受けてどのような対策をしましたか

大阪府と京都府（大阪府が1次免除だったため）

ネットなどで試験傾向の情報を十分に集め、各月、週、日に何を目標到達にするのかの勉強の計画をまずは、しっかりと立て、無駄なく効率よく勉強していく

⑥二次対策はどうしていましたか(実技・専門・模擬授業)

デッサン→独学でひたすら描く

立体造形→受験者数や過去問などから今年はどうな問題がでそうなのかを直感を頼りに推測する。  
紙立体がでると思ったからゼミの先生に紙立体の参考書などを借りて家でつくってみたりしていた（バッチリ紙立体がでた！）

模擬授業→地元にある会議室を借りて友達にみてもらう自分を撮影してチェックする。勤務先の先生・実習生と交わって対策をする指導案を完璧にかけるようにしパターン化する

個人面接→地元のいろんな友達に面接官になってもらう勤務先の校長先生や対策専任の先生にみてもらっていた。勤務先の小学校が京都府なのにも関わらずに大阪府の対策もできる範囲でみていただき本当によかったと思う

⑦あなたにとって教職ナビとはどのようなものですか

家が遠いためあんまり顔だせなかったけど、近かったら毎日行っていたと思う。

⑧ゼミ(授業)と教員採用試験との兼ね合いはどうしていましたか

京都府の小学校で1学期間だけ午前中だけをという試験対策(佛教大学通信生用)枠の非常勤講師に配属したため比較的バランスよく時間を確保することができました。夏休みは勤務終了のため集中して勉強に取り組めた。

⑨バイトやボランティアはどうしていましたか

大学生の頃に続けていたテレビ局でのアルバイトに試験に支障がでない範囲で声をかけてもらっていた。契約が終了しても勤務先にボランティアとして行くなど、社長、校長先生ともにとっても理解のある上司に恵まれていたと思う。

⑩挫けそうになったときどうしていましたか

テニススクールでコーチとして働いていたときの教え子達や保護者からもらった手紙や写真、勤務先の子どもの元気な姿や先生達からの励ましで乗り切ることができた。

⑪大学生活中にやっておいたらいいこと

たくさんの人間と触れ合って価値観を養うこと。

もともと私は先生になりたいと思っていて、でも実際に先生になって役立つことって勉強よりもいろんな人と遊んで触れ合ってたくさんの価値観を味わっておくことだと思った。幅広く見識を得たかったから美大や教育大を選ばずに総合大学に進学した。実際に教壇に立ってしまったらたくさんの人達と触れ合うことって難しいと思ったから。だから大学中に大切なことはいかにどれだけの人と触れ合えるかだと思う。これは学校の先生以外にもいえることで、教育界以外の世界の人達との繋がりを大切にできるかがこれから先、もし自分が先生をしていく上で困ったことがあったときに解決する鍵になると思う。あとは社会と接することかなー。

## Q これからどのような先生になりたいですか

『先生みたいになりたい!』と目標にしてもらえる柔軟でいつも笑顔の先生。そして日本の間違っていることを指摘できるくらい実力をつけて、世界を視野に入れて活躍することのできるグローバルな先生。そして音楽や美術など、芸術方面で世界を繋げていけたらいいなー。大きいことを言うけど、そのくらい真剣に思っているし、目標を言葉にすることは大切だと思う。とにかくこれからは英語をがんばりたい。外人さんと英語で会話できる先生って憧れるし、そんな先生を見たら自分も英語を喋れるようになりたいなって思うやん。

## Q これから教員採用試験を受ける方へのメッセージ

試験に受かるための勉強ではなく、実際に教壇に立ってみたときのことを想像力を働かせて考えて行動してみよう。まわりから何を言われても自分の動機に自信があるなら貫く。形ではなく、なぜ先生になりたいかとかそういう動機のほうが大切。自分に自信をもって失敗してもいいから何事にも取り組んでいく。そうすると自然と人生、ことが運んでいくから。